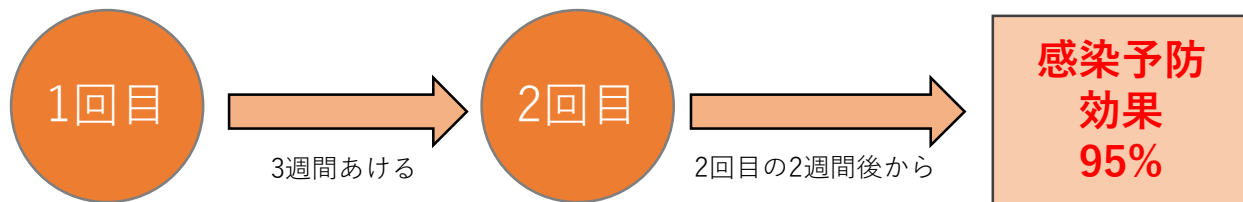


子どもに新型コロナウイルスワクチンを接種する メリット、デメリットを考えてみます

新型コロナウイルスワクチンのスケジュール



ワクチンを接種する

メリット

- 新型コロナに感染しにくくなる
- 万が一、新型コロナにかかっても症状が出にくく、重症化を防ぐことができ、周りの人にもうつしにくくなる
- これからの授業や部活動、旅行への行動制限(ガマン)が緩和される可能性がある

デメリット

- ワクチンを接種したあと数日間は肩の痛み、頭痛、だるい、熱が出るなどの副反応が出ることがある特に2回目の接種後に頻度が高い
- 心筋炎・心膜炎のリスクがある
米国では、2回目の接種後16-39歳の100万人中12.6人に軽症の心筋炎・心膜炎が認められた
(新潟県の12-15歳の人口は令和3年1月1日時点で約7.4万人)

ワクチンを接種しない

メリット

- ワクチンの副反応(副作用)の心配がない

デメリット

- マスク、手洗い、三密回避以外には追加の対策がなく、感染リスクを減らせない
- 感染した場合、稀ではあるが重症のリスクがある。
- 感染した場合、周りの人にうつす可能性があり、2週間程度隔離される
- 味やにおいがわかりにくくなりそれらの症状が長く続くことがある
- 自分が感染する・人に感染させるリスクのために、行動制限(ガマン)を今後も続ける必要がある



日本小児科学会
子どもへの接種の考え方

2021年6月末までのデータに基づいて記載しています
監修 新潟大学小児科

新潟県医師会は、**子どもへのワクチン接種をお勧めします**

新潟県医師会